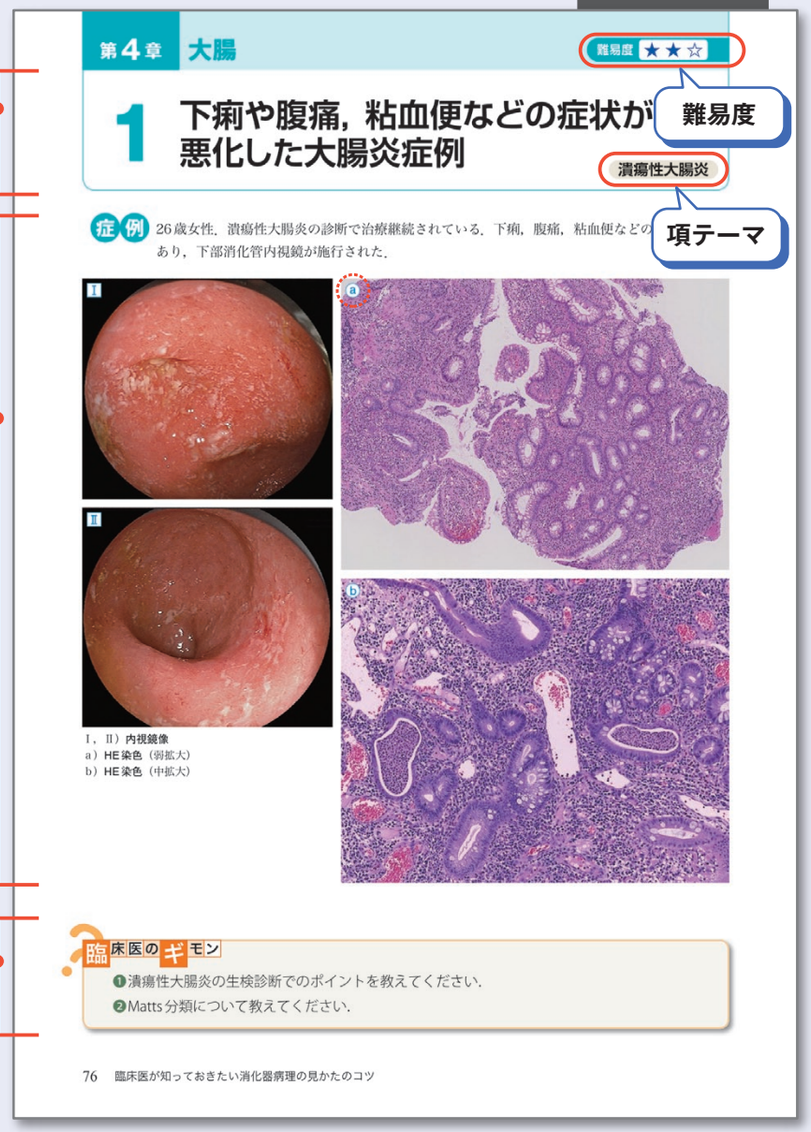
本書の構成

正常構造　各章のはじめに**0**（ゼロ）として「**正常構造**」と「**病変の見かた**」の基本を写真やシェーマとともに解説

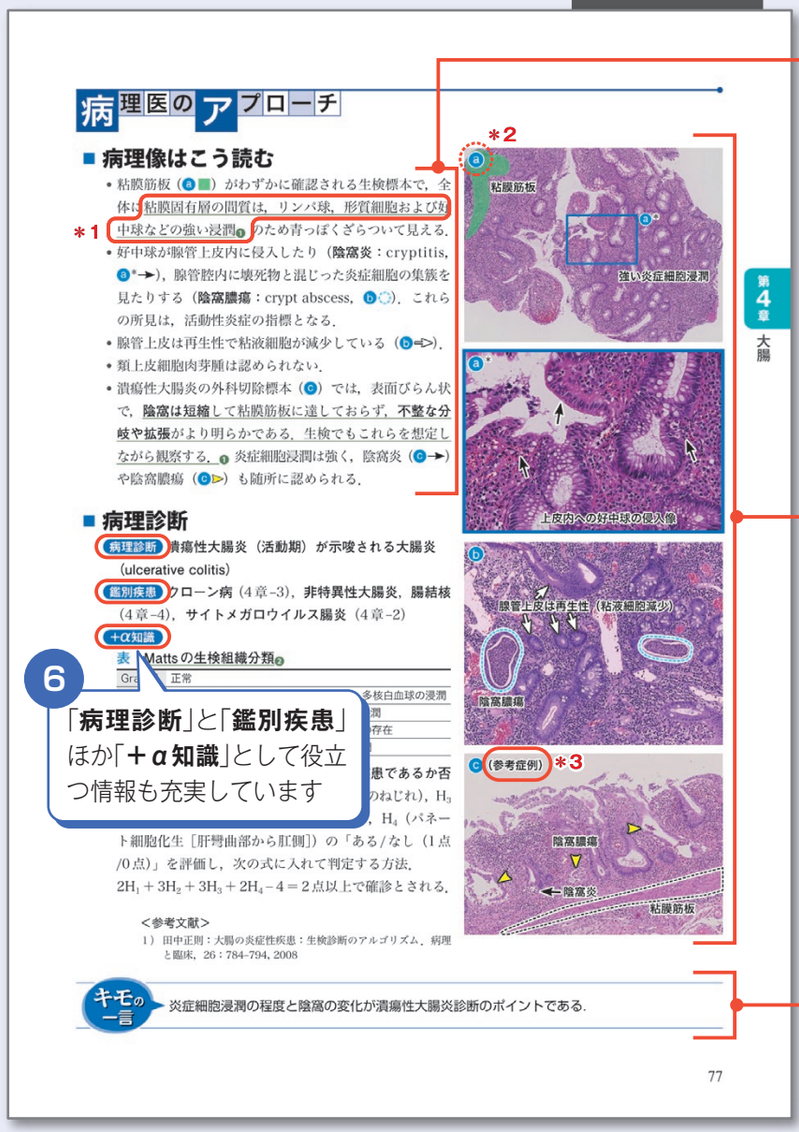
疾　患　**これだけは押さえておきたい症例**をもとに，その病理写真から何が読み取れるのかを**見開き２ページ**で解説

疾患の項の紙面構成

左ページ



右ページ



1. 病変や症状の特徴をタイトルとして呈示．さらに**項テーマ**と**難易度**も示しました
2. 症例のイメージがつかみやすいよう，病理像とともに**臨床情報（内視鏡・CT・MRI・血液検査データ等）**を掲載しました
3. 実際の臨床医の声をもとに，病理像や病理学的知識に関する疑問を取り上げています
4. 病理医はどう読むのか，病理像の見かたのポイントを写真と対応させながら解説しています
   ＊1 左ページ❸の各**ギモン**に対する回答部分には下線を引いています
5. 写真の注目すべき部分を矢印・囲みなどを使ってわかりやすく図示しました
   ＊2 左ページと同じ写真は，アルファベットが対応しています
   ＊3 同じ疾患の別症例からの写真は「参考症例」と示しています
6. **「病理診断」**と**「鑑別疾患」**ほか**「＋α知識」**として役立つ情報も充実しています
7. 締めの一言として，病理像の見かたのコツを簡潔に記しました